

第9回首都圏小児結核症例検討会（平成30年度）開催概要

日 時 平成30年11月17日（土曜日） 14時00分から17時00分
内 容 1 首都圏における小児結核症例の検討 3症例
2 講演 「BCG接種の副反応とコッホ現象への対応」
参加者 小児科診療、結核診療等に従事する医療機関従事者（医師・看護師等）及び小児結核に携わる行政機関関係者（本庁および保健所の医師・保健師等）
参加人数 約140名
会 場 東京都議会議事堂1階 都民ホール

第9回首都圏小児結核症例検討会において、発表された症例は以下の通りです。

【検討症例①】結核合併妊婦から出生した3例の経験

妊婦健診時のスクリーニングで発見された、無症状の外国人肺結核妊婦の一例

【検討症例②】コッホ現象にて診断となり、治療に難渋した肺結核・リンパ節結核の1例

コッホ現象で発見された肺結核の乳児への関わりについて

【検討症例③】結核蔓延国出身の多剤耐性小児結核症例

多剤耐性結核の家族内群発例

（尚、個人情報保護のため、検討症例についての配布資料はありません。）

講演「BCG接種の副反応とコッホ現象への対応」

公益財団法人 結核予防会 結核研究所名誉所長 森 亨先生の講演内容について掲載します。

本検討会により明らかになった課題を踏まえ、今後の小児結核対策への取組として考えられるものは、以下のとおりです。

○ 今後の小児結核対策に対して考えられる取組

- ① 乳幼児における IGRA の意義と結果の解釈
- ② 結核発症妊婦から生まれた新生児の先天性結核リスク評価と対応
- ③ 小児結核患者の入院医療体制の整備
- ④ 小児結核発症時の家族内ハイリスク接触者の対応（兄弟姉妹の対応等）
- ⑤ 保健所および医療機関と小児を取りまく関係機関との連携
- ⑥ 小児結核における粟粒結核発症のリスク評価と対応
- ⑦ 結核発症妊婦の出産医療機関の整備（産婦人科との連携）
- ⑧ 乳幼児の接触者健診実施可能な医療機関の整備
- ⑨ 外国出生結核患者の服薬支援
- ⑩ 接触者健診を含めた多剤耐性結核患者の対応
- ⑪ BCG接種の副反応とコッホ現象発生時の適切かつ迅速な対応

○ 今後の首都圏小児結核症例検討会について

東京都では小児結核に関する課題の解決のため、今後も国の研究班との共催で本検討会を継続していきたいと考えております。結核患者が減少している中で小児結核は更に症例が少なく、今後、医療機関や行政機関においても対応困難例がでることも想定されます。首都圏における小児結核対策の一助とするためにも、首都圏の保健所及び医療機関の皆様からの症例提示について、ご協力頂きます様お願いいたします。